

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロンビア大学派遣型研修
所属	法学部 法律学科 2 年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

今回の研修を通し、自分が 1 番成長したと感じた点は英語のスピーキング力である。私は英語で話すことが得意ではなかったため、研修が始まったばかりの頃は文法の間違えや発音を気にし、自分から話しかけることに戸惑いや迷いがあった。しかし、クラスメイトの堂々と英語を話す姿や、ホストファミリーの「あなたの英語は素晴らしいから自信をもって大丈夫だよ」という言葉に背中を押され、積極的に話せるようになった。また毎回の授業で、プレゼンテーションや議論を行ったため、英語を話すことに自信が付き、英語で話すことへの戸惑いや迷いをなくすことができた。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

学校が主催する課外アクティビティーに参加した。そこではフィリピンやタイ、韓国などといった様々な国の方々とお話し、親しくなることができた。大学を休学してカナダに来た人や会社から休みをもらい英語を勉強している人など、国以外にも様々な異なるバックグラウンドを持つ人々と交流をし、多くの刺激をもらった。何かを始めるにあたり、遅すぎるという事は決してないという事を彼らを通して学ぶことができた。また、私はタイ語や韓国語を話すことはできないが、英語を通してコミュニケーションをとることができた経験から、英語の素晴らしさや重要性を改めて実感した。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

飛行機から降りバンクーバーに到着した際、自分が海外にいる感覚が一切せず、不思議な気分になった。今まで様々な国に渡航したが、ここまで日本にいるような気分になったのは初めての経験であった。そのように感じた要因として、東京と近い気候や、香水や香辛料などといったきつい匂いがほとんどしなかったこと、中国系カナダ人や韓国系カナダ人などアジア系の人々がとても多くいたこと、無印やダイソーなどたくさんの日本のお店があったことなどをあげることができる。そのことから、ホームシックどころか日本にいるような感覚に何度も陥った。また、カナダ人はとても優しい人が多く、人間関係で嫌な思いを経験したことは 1 度もなかった。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

私は大学 1、2 年生のうちに 3 か月以上の中期留学をしたいと思っていたが、コロナウイルスの影響によりそれを叶えることは出来なかった。そのため研修前は、大学 3 年生になると就活が始まり時間と余裕がなくなることから、大学 2 年生の私にとって留学できるのはこれが最後になってしまうのだろうと思っていた。しかし、上で述べたように、大学を休学してきた人や会社を休んできた人に出会い、留学をしようと思えばいつでもできるという事を知ることができた。そのため、これを最後にするのではなく、機会があれば中期や長期の留学にもチャレンジしてみたい。

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロンビア大学派遣型研修
所 属	商学部 商学科 1 年
留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>留学先のブリティッシュコロンビア大学では、11 人のクラスの一員として文化の多様性や食文化、ファーストネーションのことなどを英語で学びました。授業の中でトピックについてディスカッションをする機会がとて多く英語を「話す」機会がとて多かつたため、なかなか向上させることの難しいスピーキング能力を 1 か月間みっちり鍛えることができました。また、ネイティブの先生が自分の話した分について文法的なミスやほかに適した単語がある場合にはその都度教えてくれたため、総合的に英語力を鍛えることができました。なんとか自分の言いたいことを英語で表現するというのは日本ではなかなかできないと思うのでいい経験になりました。</p>	
課外活動等,授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>スタンレーパークに行き、日本とは違うダイナミックな自然を楽しめたり、ダウンタウンツアーでダウンタウンの隅々まで回ったりしました。その時に明治大学の生徒以外の留学生であったり、日本以外の国からの留学生と交流ができたのでとても楽しかったです。少し怖かったですが、チャイナタウンに行ったときは日本では見ることのできない風景が広がっていてしかもそれが日常として存在していることに感銘を受けました。現地に行ったからこそできる体験を課外活動では得ることができました。</p>	
滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>現地のレストランに行ったときに、店員の方から「君たち日本人!？」と声をかけていただいたことが個人的にとてうれしかったです。ポケモンが大好きだよと言っていたり、日本の全日本プロレスが大好きといたり、日本の文化が遠いカナダの地でも広まっていて愛されているということを感じることができ、海外に行ったからこそ味わうことのできる経験だなと思いました。また、ホストファミリーとの生活の中でごみの分別について何度も怒られたことなどから環境についての意識が日本とは比べられないほど高いなと感じました。</p>	
今後の展望・目標について,留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>留学当初は全然相手の言っていることが聞き取れなかったのですが、今ではなんとなく言おうとしていることが分かるようになってきました。しかし、まだ自分の言いたいことを表示することができないので日本に帰ってからも学習を続けていきます。リスニング力は英語を聞かなくなると一気に落ちていくと思うので、洋画を見たりいろいろな方法を使って、せっかくついた力を定着させるように学習を続けていきます。また、授業の中でみっちり鍛えたディスカッションの力は英語だけでなく、日本語でのディスカッションにも生きるのを生かしていきたいと思います。</p>	

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロンビア大学派遣型研修
所 属	政治経済学部政治学科 1年
留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300字程度)	
<p>ELI の授業ではカナダと日本の文化の違いだけでなく、様々な国の文化を英語で学んだり、イディオムや発音、文法を教わった。また、食べ物や映画、フォトエッセイなどをテーマとしたプロジェクトを行った。実際にグランビルアイランドというフードマーケットへ行き、グループに分かれて食べ物を調査して比較し、パワーポイントにまとめて発表したり、テーマを決めて写真を撮りに街へ出かけ、それに基づいて考えたことをフォトエッセイとしてディスカッションした。オンラインではなく、現地に行ったからこそその学びがたくさん体験できてとても楽しく学ぶことができた。何でも英語で考える力を身につけることができたと感じる。</p>	
課外活動等,授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300字程度)	
<p>現地の学生がスタンレーパーク、ダウンタウン、チャイナタウン、ガスタウン、ノースバンクーバーなど、様々な場所を案内してくれた。自分たちだけでは知ることができないようなおすすめの良い場所や、歴史について教えてくれたり、少し危険とされている場所も現地の学生と行くことで安心して楽しむことができた。バンクーバーは自然豊かでどの場所もとても綺麗で、日本では見られない景色を見ることができた。しかし、雨期だったので雨で楽しめない日もあったのは残念だった。</p>	
滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300字程度)	
<p>ホストファミリーと過ごした時間は充実していて、一緒に映画を観たり、コストコに連れて行ってくれた。毎日美味しいごはんを作ってくれて、多国籍な料理を知ることができた。お礼にルームメイトと手巻きずしを作ったときにはとても喜んでくれていた。最後に手紙を渡したときは泣いてくれて出会えて良かったと思った。</p> <p>私にとってこの留学がほとんど初めての海外渡航だったので、すぐに適応することは難しかったが、カナダは多文化が共生しているため、たくさんの日本のお店やレストランがあり、日本人にとって住みやすい国なのかもしれないと感じた。また、カナダの人はとても優しくフレンドリーでとても良い文化だと思った。</p>	
今後の展望・目標について,留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300字程度)	
<p>私は今まで自分のやりたいことが明確に定まっていなかったが、今回の留学で大まかではあるが、目標ができたように思う。もともと食に興味を持っていて、留学前はそれは単なる人並みな興味だと思っていてそれを学びとして真剣に考えたことはなかったが、留学中にモザイク国家であるカナダで多国籍な料理にたくさん触れ、食文化について学び、今後食に携わるような仕事に就きたいという目標が自分の中で芽生えた。英語を学んだことで同時に様々な文化を知ることができたので私の中でこの留学はとても自分のためになったと感じる。これからも英語の学びを継続し、何か将来に繋げられるように頑張りたい。</p>	

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロロンビア大学派遣型研修
所 属	政治経済学部 政治学科 2年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

月曜日から木曜日までは9時から15時45分まで、金曜日は12時半までの授業があり、それを4週間のプログラムでした。授業内容は主にカナダと日本の文化の違いであったり、食文化についてや映画といったトピックを扱い、そのトピックに沿ってディスカッションを行ったり文法や会話表現を学びました。トピック自体は難しくなく、ひたすら英語で自分の意見を言うことで英語に慣れることができましたと思います。クラスも11人の少人数で行われたため一人一人が話す機会が多くありました。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

ホストファミリーがチャイニーズカナディアンの方だったので、多文化共生についてお話を聞くことができました。また、私がお世話になったホストファミリーのお家にはもう一人ブラジル人が語学留学のために来ていて、ルームメイトと積極的にコミュニケーションを取りお互いのことを知る努力をしたことで異文化理解が深まりました。そのルームメイトと放課後にご飯を食べに行ったり週末にお互いの国の料理を作りあったり、さらにルームメイトの学校の人と一緒に旅行に行ったりと、様々な国の人と交流ができてコミュニティを広げることができたことはとても良い経験になりました。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

バンクーバーは思っていたよりも良い意味で海外っぽさが強くなく、日本人にとって住みやすい街だと感じました。街の人は皆とても親切にしてくれて、レストランやお店の店員さんは日本よりも優しく丁寧な接客の人がほとんどで驚きました。日本とは違ってバンクーバーの交通手段は電車よりもバスが主流なのですが、椅子から落ちそうになるくらい揺れが激しいので、最寄りのバス停から大学までの40分間揺れの衝撃と車酔いに耐えなければいけなかったのが慣れるまでは大変でした。私は冬に留学をしましたが、バンクーバーは冬が雨季で1か月の内半分以上は雨の日だったので夏に行くことをお勧めしたいです。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

留学前は自分の将来についてぼんやりとしか考えたことがありませんでしたが、バンクーバーで出会った学生の達は皆自分の将来についてはっきりと目標が定まっています。この1か月だけでは英語力がすごく上がったということはできませんが、これから先どのように英語学習を続けていけばよいか、自分に足りないものはっきりとした1か月だったので、自分に足りない部分をこれから補っていきたいと思います。そして将来は観光に携わって、海外の人と一緒に仕事をしたり、おもてなしができる人になりたいと考えています。

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロンビア大学派遣型研修
所 属	文学部 心理社会学科現代社会専攻 2年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

この留学では、たくさん英語を話す機会があった。ただ先生の話聞く時間よりも、英語を話す時間のほうが長かったように思える。はじめは、英語を話すことに苦手意識があったがいつのまにか話すことに抵抗がなくなっていってもっと英語を使って話したいという気持ちの方が大きくなった。日本語では話したいことは浮かぶのに英語で伝えることができないことにもどかしさを感じるのが何度もあった。そういったことから、英語をもっと学ばなければいけないという気持ちが強くなり、授業中はメモをしたり先生の言ったことを聞き逃さないように集中するように心がけた。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

週末や放課後を利用して、英語だけではなく様々なことを学ぶことができた。特に、印象的だったのは UBC の生徒が企画して行ってくれたダウタウンツアーである。街並み、人、食べ物、目に見えるものすべてが新鮮で貴重な経験になったと同時に、カナダの文化を肌で感じることもできた。自然と町が共存している街並み、様々な人種がいること、多種多様な料理があることなどただ町を歩くだけでたくさんのことを知ることができた。ウィスラーに行きスキーをしたり、スケートをしたり、アイスホッケーを見たりウィンタースポーツを経験することもできた。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

カナダの生活に慣れるまでに時間がかかると思っていたが、1 週間ほどでカナダの生活にも慣れることができた。はじめの一週間は、食べ物の違いや暮らし方の違いなどはじめて経験することが多くて苦しいと感じることがあった。いつの間にか、カナダの生活にも慣れ楽しく感じるようになっていた。バンクーバーは、公共交通機関が発達していてどこに行くにも簡単にいくことができた。レストランやお店も、様々な国のものがある色んな国に行ったような気持ちになった。衝撃だったことは、バスや電車に乗っているとき聞こえてくる言語は英語、中国語、韓国語、フランス語など様々な言語が飛び交っていたことだ。本当に様々な人種の人々が暮らしているということを実感できた。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

留学前は英語を話すことに苦手意識があり、話すことに抵抗があったが今回の留学を通して抵抗はなくなりもっと話せるようになりたいという気持ちになった。今後は、英語を話すことを継続させたいと考えているので英会話を習ったり、英語の授業をとりたいと考えている。そして、もしまた機会があれば留学をしてみたいと考えている。この留学に行く前は、留学に対して少し恐怖心があったが今回の留学の経験からもっと留学したいと思えるようになった。これからは、毎日英語に触れるように心がけて今回の留学で学んだことを生かしていきたい。

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロンビア大学派遣型研修
所 属	農学部 生命科学科 2 年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

留学先では英語力の向上を目標にし、この実習に取り組むことができました。この目標を達成できるようなカリキュラムが留学先の学校で組まれていたので、留学終了時に、英語力の向上を実感することができました。具体的に、先生からの説明、日本人の生徒との会話、グループワーク、ディスカッション等が全て英語で行われていたため、英語の 4 技能を意識した学習をすることができました。このような授業の中で特に、Speaking 力を向上させることができた実感しています。自分が今まで覚えてきた単語や文をアウトプットする機会がたくさんある環境であったことが、このような力を向上させることができた理由であると思います。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

授業時間外の活動について、現地の学生主催のプログラムへの参加を行い、様々な経験を得ることができました。現地の学生との交流を行う機会があり、大学のことやバンクーバーのことについて英語で会話することができました。また、明治大学以外の留学生とも交流することができました。授業で学んだ単語や英語表現を実際に使用してみる機会がこのプログラムであったと思います。授業でインプットしたことを、プログラムでアウトプットすることで英語の定着を行うことができたと思います。また、初対面の現地の学生を話すという経験を通して、コミュニケーション能力を向上させることができたと思います。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

バンクーバーでの生活で、言語を使ってコミュニケーションを取ることの重要性を感じました。特に、ホームステイ先でホストマザーに要望がある際に、自分の要望をはっきり伝えることが重要であると感じました。“察する”ことはとても難しいので、自分から英語でコミュニケーションを取り、素直に要望することでストレスなく生活することができました。それ以外の場合でも、お店やレストランなどでどの商品がよいのかわからない際に、店員の方に英語で尋ねることで自分の欲しい物を購入することができました。カナダの人々はとても優しく接してくださるので、英語で自分からコミュニケーションを取ることで、より良い関係や雰囲気にすることができ、言語を使ってコミュニケーションを取ることの重要性を感じるすることができました。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

留学前は英語の 4 技能において Speaking 力が圧倒的に欠けていました。この留学を経てその技能を向上させることができたと感じています。今後の目標について、単語力などのボキャブラリーを増やしたいと思います。聞く、話すためには、その内容を知っている、意味がわかることが前提にあると思います。この留学では聞く、話す力を向上させるためには、単語力等のボキャブラリーの底上げが必要であると改めて実感しました。日本でも比較的向上させることが容易なボキャブラリーを向上させ、英語 4 技能をバランスよく伸ばせるように、努力していきたいと思っています。

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロンビア大学派遣型研修
所 属	経営学部 経営学科 2 年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

日本において持っていた英語感や学習方法では不十分であることを実感することができました。細かなところでは、子音と母音が連続する箇所において生じるリンキングや、ストレスの置き所などです。日本にいた頃は意識して英会話をしていたつもりですが、正直なところカナダでは通用しませんでした。もちろん研修校の先生方はある意味で留学生に慣れてらっしゃるので意を汲んでもらうこともできますが、ホテルの朝食やファストフードの注文などは難しかったです。裏にアルファベットが透けて見える自分の書き言葉のような英語と、ストリートで実際に使われている生きた話し言葉にはやはり大きな違いがありました。このことを知れただけでも大きな学習成果になったと実感しています。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

私は授業外の時間で様々な場所に行って様々なことを経験することができました。鮮やかなブリックが街一面を覆っているガスタウンや、自然豊かなスタンレーパーク、また対岸から市街を一望できるノースバンクーバーなどです。中でも私はガスタウンにおいていろんな発見がありました。ガスタウンは国際色豊かで、いろんな国籍の人やそれぞれの祖国にルーツを持つ人に溢れていて、また様々な言語が飛び交っていました。事前学習において投げかけられていた「カナダ人ってなんだろう？」という質問の答えが分かったような気がしました。カナダは世界各地のいろいろな地域から移民を受け入れて発展してきた国です。調べたところによると、原住民と言われる人たちがさえ元はアジア地域から移り住んできたそうです。カナダ・バンクーバーは様々な文化に溢れていて、それぞれが調和し合って形作っているということがガスタウンの日常から垣間見えました。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

現地でのホームステイや日常生活を通じて実感したこととしてはやはり、日本は本当に恵まれているということです。日本は四方を海に囲まれていて、山々の自然にも恵まれているので真水に困りません。ですが、カナダではそうは行かないようです。シャワーを使う時間も 5 分程度で済まさなければならず、また電気代のことも考慮して極寒の中暖房を使わず何枚も重ね着をして寝ていました。またホストファミリーは基本的にお金の話ばかりしていました。ある日突然 “you make us go bankrupt!!!” と言われた時は「感じ悪いなー」と正直思ってしまったが、本当に日本よりも生活が苦しいということはわかりました。逆に考えれば、今までの私は資源を無駄にし過ぎていたんだと思います。持続可能な社会の実現が声高になっている昨今において、ホームステイ先での経験は今後の自分にとっても貴重なものでした。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

将来は英語を使った仕事がしてみたいとより一層思いました。私はカナダ・バンクーバーで新型コロナウイルスに感染してしまったのですが、その際に international student office の西川さんや現地の保険会社のコーディネーターさんなど、いろんな方々の協力があって現在健康に過ごせています。もし仮に一人で全てやらないといけなかったと思うとゾッとします。協力してくださった方々に感謝してもしきれないですし、また同時に尊敬の意を感じ得ずにはられません。自分自身も今回の経験を生かして帰国後もますます英語力に磨きをかけて、上記の方々のような Tough Negotiator になりたいです。

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロンビア大学派遣型研修
所 属	経営学部 経営学科 2 年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

四技能の中でも、特にスピーキング能力の向上を図れた。授業では、発音の練習、単語の復習・暗記、プレゼンテーション、フィールドワークなど、多数の学習があった。中でも、発音の練習は、自分自身渡航前の時点では自信がない点だったので、本物の発音に触れることができ、効率よく改善することができた。また、プレゼンテーションはこれまでに経験が無かったのを踏まえ、準備期間が極端に短かったのもあり、中々苦戦を強いられたが、やり切った後の達成感は確かなものだった。フィールドワークでは、実際にバンクーバーの街に繰り出して現地の実地調査をしたため、単なる英語能力の改善だけでなく、異文化理解の面でも新鮮で刺激的な面が多々あった。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

ホストファミリーとハイキングや、サイクリング、スケートに行ったが、日本では気軽にできない経験をすることができた。カナダの大自然に囲まれて、よいエクササイズとともにリフレッシュをすることができて、休日をととても有意義に過ごすことができた。また、ダウタウンツアーやスタンリーパークのアクティビティ等にも参加したが、アシスタントの方たちがバンクーバーの街並みを案内してくださった。その中では、日本では見られない光景や建物が並んでいて、とても魅力的だった。他校から来ていた生徒達との交流もあり、多角的な考え方も学べた。また、カナダは多数の人種が街に混在していて、中国系の街では、英語よりも漢字表記が多かったのが最も衝撃を受けた。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

はじめは、好奇心と緊張・不安が半々であったが、一週間たつと徐々に生活に慣れていった。大学での生活も、正直初週は疲れがたまっていたが、同じく現地の生活に合わせることができた。結果としては、一か月を通して、漸く現地の生活にフィットした体感であった。感想としては、苦労した半面楽しさもあり、例えば現地のスーパーマーケットの規模が大きくて、見て回るだけで胸が躍った。食に関しては、やはりメープルシロップがお土産屋さんでは全面的に押し出している店舗もあつたり、ホームステイ先でも出されたりと、固定観念通りの光景が広がっていて、興味深かった。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

自身の英語能力の改善のみならず、異文化理解を深める目的ももって渡航したが、結果的にどちらもかけがえのない経験をする事ができた。今後の展望としては、今回学べた点を蔑ろにしないよう普段から英語の勉強を怠らないようにしたい。異文化理解においては、情報としてしか知らなかった文化に生で触れることで、今までの見解を改めグローバルな考え方を身に着けることができた実感している。それは現地で聞く英語のみならず、人々や街並みを通して得られたものであった。今回経験できたすべてを、今後の生活において積極的に生かせるよう、心にとめておきたい。

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロンビア大学派遣型研修
所 属	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科 2年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300字程度)

ELIでの授業は、午前9時から午後3時45分までみっちりに行われ、主にプレゼンテーションやプロジェクトといった、生徒たち自身で協力して授業を作っていく内容が多かったと感じています。ネイティブの英語を学ぶための発音学習やボキャブラリーを増やす学習も多かったような印象です。

1ヶ月という短い期間でしたが、オールイングリッシュのハードな授業を通して、スピーキングとリスニングの能力が鍛えられたように感じています。研修開始当初は、話を理解するだけで精一杯だったものの、研修が終わる頃には簡単な言葉で自分の考えを伝えられるようになりました。これは私にとって大きな進歩だと思います。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300字程度)

授業以外の時間では、ホームステイ先の方や友達と過ごす機会が多かったですが、いくつかの課外活動(スタンレーパークツアー、ダウントウンツアー等)にも参加しました。そこで私たちのサポートをしてくださったGAさんたちとの英語での会話を通して、外国人の方との交流を深めることができました。ツアーでは、ダウントウンにある観光名所なども紹介していただき、カナダの文化や街並みに触れる非常に良い機会になったと感じています。また、同じプログラムに参加した学内外の友達との仲も深められたので、とても貴重な経験ができたと思います。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300字程度)

研修期間中に滞在させていただいたホームステイ先の方々はとても優しく、快適に過ごせる場を与えてくださいました。ホストマザーはもちろん、その子供たちとの交流を通して得たものはかけがえのないものとなりました。皆さんが良くしていただいたおかげで、現地の生活スタイルにもすぐに慣れることができ、とても充実した毎日を過ごさせていただきました。また、3月が私の誕生日だったということもあり、誕生日当日にはみんながお祝いしてくれました。それは今までの誕生日の中でも一番の印象に残るものとなりました。

最後の別れは非常に辛いものでしたし、今でもあの家をととても恋しく思います。非常に恵まれていたホームステイ先だったと思いますし、本当に感謝しかありません。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300字程度)

今後の展望に関しては、自分自身でもまだ決めかねている部分があります。語学の勉強を継続していくことは大前提としてありますが、このまま3年生になり夏頃から就職活動を始めていくのか、それとも自分が興味を持つものを突き詰めて勉強するために、海外の大学院などを視野に入れていくのか、という部分です。

今回の研修は自分の今まで持っていた価値観や考え方を変える、非常に大きなものとなりました。留学以前はこのように自分の将来について真剣に考える機会はありませんでしたが、今では自分の将来について、真剣に考え選択しなければならない時が近づいているのだと実感しています。

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロンビア大学派遣型研修
所 属	国際日本学部国際日本学科 1年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300字程度)

「Global Citizenship through English」通称「GCE」の授業に参加しました。1日に朝と午後の2コマ授業があり、フォーカスをおくところは多少異なるものの、どちらもディスカッションや発表(プレゼン等)をメインとした授業でした。扱った内容は幅広く、文化・食と健康・環境問題・テクノロジーと教育・フォトエッセイ…など、Global Citizenとして生きるうえで欠かせないことを、浅く広く学ぶことができました。自分が特に興味を持っているテーマも多く、毎回大きな関心を持って取り組むことができましたと思います。日々、新たな語彙や表現を学び、カナダの人は実際にどう発音するのかを学べたこと、加えて、フォーマルな表現とインフォーマルな表現についても知識を深められたことも、この授業での大きな収穫です。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300字程度)

週末は、なるべく外に出るようにしていました。「ここ(バンクーバー)でしかできないことをとことんやる」と決め、ELIのCAさん(Cultural Assistant)が企画するアクティビティの他にも、美術館に行ったり、反戦デモに行ったりと動き回っていました。そのようにとにかく動いてみるなかで、ある日思いがけない方との出会いに恵まれました。その方は全くの他人だったのですが、連絡先を交換した後、日曜日にボランティアに連れて行っていただいたり、日本にルーツがあるJov Kogawaさんという方の記念館でのイベントに私を参加させてくださったりと、思いがけず、素敵な体験をすることができました。この方との出会いは宝物です。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300字程度)

ホームステイ先は、ホストマザーともう一人の日本人学生との3人暮らしでした。ホストマザーはインドからカナダに移り住んできた方で、バンクーバーでの在住歴が40年を超えるものの、インドの文化を大切にしている方でした。「シタール」というインドの楽器の奏者で、毎晩リビングで練習している音が私の部屋にも響いてきて、とても心地よかったのを覚えています。夜ごはんにはインド料理を出してもらえたのですが、朝と昼はすべて自分で準備する必要がありました。家から大学までバスと徒歩で1時間以上かかったため、毎朝早く起き、夜は次の日の昼ごはんを用意してから寝る、といった日々でした。バンクーバーは比較的安全な場所で、ついバスのなかでウトウトしてしまっても、荷物をとられたりする心配はありませんでした。生活のなかで特に印象に残っているのが、クレジットカードを使う場面の多さです。ほぼすべてのお店でカード支払いができ、ときには現金お断りのところもあるほど。日本で全くカードを使っていなかったため最初は戸惑いましたが、徐々に慣れていきました。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300字程度)

「現地の人と、日本語で話すときと同じくらいスムーズに英語でコミュニケーションをとれるようになる」、「色々な価値観があることを受け止め、それぞれの立場を想像できるようになる」、そして「“英語で”考えられるようになることで、枠にとらわれないアイデアを出せるようになる」といった目標を立てて、今回の留学に出発しました。自分を英語の環境に置くよう努めたことと、さまざまな場所に足を運び多くの人と出会ったことで、目標の達成に少しずつ近づいていかれたかなとは思っていますが、この留学を経て新たな目標もできました。それが、「より長期間、慣れない環境に身を置き、英語で考えて意見を持ち、学びを深める」という目標です。この留学が終わってまず初めに感じたのが「短い…もっといたかった」というもの足りなさで、今後は、より長い期間このような環境で学びたいと思いました。

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロンビア大学派遣型研修
所 属	国際日本学部 国際日本学科 2 年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

ELI での授業は双方向型で行われていた。毎日の授業は対面形式だったため、文法やネイティブスピーカーの発音、イントネーションの仕方を直接聞いて学ぶことができた。食の問題やテクノロジー、カナダについてなど様々なトピックについての授業が展開されており、どれも興味深かった。これらに関する知識をインプットし、それをアウトプットする機会も多く設けられていた。例えば学生自らが意見を述べたり、クラスメイトや UBC の正規課程に通う学生とディスカッションをすること。学生同士が協力して作成するプレゼンテーションやポスター発表をすることだ。これらのインプットとアウトプットの両方を実践することによって、英語で発言したり考えたりする力、スピーキングや発音のスキルが向上したと考える。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

UBC の学生である CA (Cultural Asistant) によって企画された、課外活動の多くに参加した。Stanley Park Tour や Down Town Tour では、カナダの豊かな自然文化や歴史に触れながら、街や公園を散策することができた。North Vancouver や現地の学生おすすめの観光スポットを訪れることもあった。CA の学生と共に、日本とカナダの文化や UBC について会話すること、様々な活動に参加することで、次のような習得があった。それは、カナダやバンクーバー、UBC についてより詳しく知ることができること。英語を実践的に学んだり使用したりできること。そして、日本とは異なる公共交通機関での感謝の表し方やチップについての慣習や文化を学び理解できることだ。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

今回が初めての海外生活・海外留学だったため、その国の文化や生活に適應できるか心配だった。だが、現地の方々や滞在先のホストファミリーが優しく親切に迎えてくれたため、安心して楽しみながら海外での生活を送ることができた。例えば私は、カナダでの公共交通機関を利用するため Compass Card を使用していたが、不具合により滞在期間の途中で使用できなくなった。その際、ホストファミリーに手伝ってもらい無事に問題を解決することができた。また ELI の先生やスタッフの方々、現地の学生も日本人学生の悩みや不安を聞いてくれたり、帰国に向けた準備の手助けをしてくれたりと、とても親身に対応してくれた。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

現地の学生や他の ELI に所属する学生との交流を通して、自分の意思や考えをしっかりと持ち、主張できる力がある人が多いと気づいた。また、バスを利用した際に運転手に対して「Thank you.」という習慣があることや、カナダの勤労時間が日本と大きく異なること、多様な人種や食文化が存在することなど、日本と異なる文化に気づいたりそれを体験したりすることができた。同時に、日本の食文化や伝統について現地の方々発信したことは、自国について見つめ直したり深く考えたりするきっかけにつながった。これらのことを通して考えた今後の展望と目標は次の通りだ。一つ目は、英語で自分の意見を明確に示し、ディスカッションできる能力、発言できる力を身につけることだ。これを達成するために、日々の英語学習やアウトプットの練習を欠かさず行いたい。二つ目は、日本文化や食に対する知識を深めることだ。その背景や成り立ちを理解すること、英語で説明できるようになることを目指して、今後の勉学に励みたい。

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロロンビア大学派遣型研修
所 属	国際日本学部 国際日本学科 専攻 2年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

今回留学に参加したのは、語学力の向上と異文化経験であった。大学の授業では単語帳に載っていないような単語を学ぶことが出来、また、プレゼンの能力も上がったように感じる。国際日本学部でも同じような授業があったが、実際に海外の人に向かってプレゼンをするのと、クラスメイトにプレゼンをするのでは緊張感が異なり、とても刺激的であったように感じる。また、いくつかの文法についても学ぶことができた。高校で1度は習うような文法であったが、現地ではニュアンスの違いを細かに教えてくれたため、受験英語にはならず本来の使い方ですピーキングにいかすことができたと感じる。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

海外の友達を作ることができたことが自分にとっては大きな収穫であったように感じる。大学の授業は全員日本人であり、少し不満に感じていたが、大学が提供する課外活動に参加することで、同じプログラムに参加する海外の人と会うことができた。日本人同士であるとどうしても日本語が出てきてしまいがちであるが、プログラムで出た友達は英語でしか会話ができないため、自分の語学力をあげる良い機会になったと感じる。自分たちの国での生活や食に関して、話すことができ、インターネット上では得ることが出来ないような生の声を知ることができた。特に韓国の友達とは韓国の兵役の話について、話したが、私にとっては新しいことばかりでとてもためになった瞬間であった。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

バンクーバーはとても過ごしやすく海外独特の匂いはなく、またマルチカルチャーであるため、日本食や中華料理、韓国料理のお店も多くみられた。私が出会ったカナディアンは全員親切で、友達と道に迷ったときにも、通行人の人が助けてくれることがあった。治安も日本ほどではないが、かなり良く、インフラも整っているように見うけられた。物価がとにかく高く、外食をするときはかなりお金を使わなければいけなかった。公共交通機関は、電車は時間通りに来るがバスは時々遅れてくることがあった。時間にルーズなわけではないが、日本ほど厳しくもなく、おおらかな印象を受けた。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

私は将来の夢が決まっていなかったが、今回の機会を得て海外で働くことも視野に入れることができた。また、留学前に比べて、英語での質問に焦らなくなったことや、返答するのに時間がかからなくなったことが自分にとって大きな進歩であると考え。私の学部は英語に特化しているが、やはり日常の会話を身に着ける機会はなかなかないと感じる。また、日本人に対してではなく、海外の人に自分の英語が通じたことに大きな喜びを感じ、自身を持つことができた。積極的に英語の授業を取っていきたいと感じるし、第2外国語も学んでみたいと坎じた。

明治大学 2021 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュコロンビア大学派遣型研修
所 属	国際日本学部 国際日本学科 2年
留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300字程度)	
<p>午前中は語彙や文法など英語の基礎的な部分を養う授業、午後はプレゼンテーションの授業を行いました。午前の授業と午後の授業どちらの授業でも新たに得る語彙や知識は多く、また生徒数が13人ほどであったことや教室の机の配置が小さなグループをいくつもつくっているような形であったことから、生徒同士が話し合いをしやすい、分からないことがあったときにすぐに質問をすることが出来る環境が整っていたため、非常に学習の環境も整っていました。授業中は失敗を恐れずに何度も発言して、間違えたことはその場で覚えていくようにしたことで、英語力を向上させることができ、また英語に対する自信も持つことができるようになりました。</p>	
課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300字程度)	
<p>UBCの生徒でありELIの生徒向けに放課後や休日のプログラムを企画して下さるCAの方々とは休み時間やプログラムに参加した際などに交流する機会があったのですが、休み時間が異なっていたためにELIにいる海外から来た生徒とは普段あまり関わることが出来ませんでした。しかしながら、CAの方々が企画して下さったプログラムにおいてそうした生徒の方々に関わることができ、文化の違いやたわいもない話などをし、学校では学ぶことのできないような新しい知識を得ることができました。また、ホストファミリーがスイス出身だったこともあり、スイスの文化も学ぶことが出来ました。</p>	
滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300字程度)	
<p>現地の生活において困ることは全くありませんでした。想像以上にカナダには多種多様な方がおり、日本食だけでなく、世界各国の食べ物がどこでも手に入るという状況でした。UBCの学内には日本の食べ物を主に販売しているお店もあり、じゃがりこや白い恋人まで買うことが出来るようになっていました。私の場合、移動は主にバスを使っていましたが、降車の際にボタンも少しありますが、ワイヤーを引っ張って運転手に降車を知らせるといったシステムは面白いと思いました。また、降りるときは運転手に「Thank you」と言う文化があり、非常に素敵だと感じました。</p>	
今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300字程度)	
<p>留学前は、コロナウイルス流行下であるということや、現在自身が2年生であるということを踏まえ、このプログラムが終わった後、留学することは難しいだろうと考え、諦めていたのですが、今回のプログラムを通して、自身の英語力に対する自信がついたことや、今回のような英語を学ぶプログラムではなく英語で学ぶ経験がしたいと考えたことから、さらに長期で留学をしてみたいという気持ちになりました。今後はカナダで学んだ多文化共生への取り組みなどの知識を今後の明治大学における講義に活かし、またよりコミュニケーションに問題がないようにするために、語彙の勉強をしていきたいと思いました。</p>	